

# 向かう先を安全に。



普段何気なく通っている道。いつも通っている場所だから事故や犯罪に遭わない、大丈夫と気を抜いていませんか。また、身近に潜む犯罪や危険から、自身や大切な人を守ることはできますか。

近年、児童・生徒を対象とした連れ去りや悪質ないたずらが多く報告されています。被害に遭ってからはじめてもっと気をつけていればよかったと後悔します。

子どもからお年寄りまで、安全に安心して暮らせるまちにするためには、一人一人が防犯や危険への対策をし、意識を高めることが非常に大切です。ささいなことでも、大きな被害につながる恐れがあるという認識を持ち、何かあれば周りの人に伝えるようにすること。

何かあつてからでは遅い。そういった意識を常日頃から持つことを心がけ、私たちの安全安心について考えましょう。

☎ 危機管理室  
06・6992・1497

## 「安全安心なまち守口」を目指して

本市は、「住んでみたい、住みつけたいまち」として選ばれるまちを目指しています。そのためには、犯罪のない「安全安心なまちづくり」が求められます。

今住んでいる市民には、安心して毎日を送れるように。本市への転居を考えている人には、守口が安全安心なまちであることを知ってもらえるようにしなければなりません。

「安全安心なまちづくり」は、行政や警察だけでは築くことができません。本市では、防犯委員をはじめとするさまざまな人が、積極的に、誇りを持って活動しています。

## あなたの地域を見守る「防犯委員」

**防犯委員とは**

守口市防犯委員会は「安全・安心まちづくり」を目的として、市民生活に不安を与える犯罪、事故の被害を未然に防ぐため、警察署の協力のもと、関係機関・団体などと連携し、市民の安全意識の高揚および自主的活動の促進に取り組んでいます。

現在は約2千人の防犯委員で構成されています。

的に実施しているのが「歳末夜警」です。

年末にかけ、夕刻から夜間に拍子木を打ちながら、火の元の確認と戸締まりなどを呼びかけ、活動区域内を防犯委員が巡回しています。地域を巡回することで、犯罪の抑止にもつながり、地域の防犯や防災の意識も高まります。

### 防犯・防災の意識を高める取り組み 歳末夜警

年末に多発する空き巣、放火、ひったくりなどの犯罪を未然に防ぐために、市防犯委員会が中心となり、守口警察署などの関係機関と連携しながら、各地域の活動区域内を巡回し、犯罪の抑止や、地域の防犯意識向上を目指しています。

**防犯キャンペーン**

春、秋、歳末に警察と連携し、ひったくり防止カバーの取り付けキャンペーンや、ナンバプレート盗難防止ネジ取り付けキャンペーンを行っています。また、広報活動や資料などの配布、チラシや新聞「防犯おさか」を各戸に回覧したり、小型懸垂幕、ポスターを地域の掲示板に掲示して、地域の防犯や防災の意識向上を図る啓発活動を行っています。

## 防犯カメラの設置で守口の治安は格段に向上!

市では、平成28年10月1日から、子どもや女性を中心とした市民の皆さんが、あらゆる犯罪被害に遭うことを未然に防止することや、万が一犯罪が発生した場合でも、捜査機関による犯人の確保など迅速な対応ができるよう、市内全域の公共空間に防犯カメラを1,000台設置しています。



その結果、刑法犯認知件数が1,797件(前年2,296件)と昨年と比べて21.7%減少し、検挙件数は540件(前年447件)と昨年に比べ20.8%増加しました。これは、大阪府内でもトップクラスの減少率および増加率です。市が防犯カメラを設置したことに加え、防犯委員会など多くの人が積極的な見回り活動を行っていること、警察の犯罪の防止・捜査の取り組みなど、多くの取り組みが実を結んだ結果です。



防犯委員腕章



ひったくり防止カバー



歳末夜警の様子